

委員会報告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会は、6月定例会で付託になった議案・請願・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(瀬戸口三郎委員長) は、平成18年度曾於市一般会計補正予算(第1号) 所管分など10件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案2件を賛成多数、議案5件を全会一致で可決、議案1件を全会一致で否決、議案1件を全会一致で修正可決、陳情1件を全会一致で採択すべきものと決定しました。

☆曾於市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について

本条例は、住民票等の申請をオンラインで行なうことができるよう制定されました。

☆曾於市国民保護協議会条例の制定について

曾於市国民保護協議会条例の制定と委員の月額報酬が決定しました。

☆曾於市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について

事務局は企画課ですが、



総務委員会現地調査(財部方面隊南分団詰所)

☆曾於市過疎地域自立促進計画の変更について

今回の変更は、5月県との協議を終え、平成17年度から21年度までの計画変更であり、事業名の変更や事業量の変更・追加・中止する内容であります。その中で特に、中止の表現について多くの意見が出されました。

合併して、3月に振興計画を議会は議決したばかりであり、特に道路の改良計画が1地区に集中して中止されるのは、平等

性にかけるのではないかなど、旧3町の今後の計画・実施については、十分な検討をすべきであるとの意見を付して可決されました。

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画について(大隅町恒吉辺地)

大隅町恒吉辺地の神牟礼・沖上線と須田木線の道路整備を、18年度から22年度まで引き続き行なうものであります。できるだけ早く少しでも道路

改良の延長をされるよう要請され、可決されました。

☆平成18年度曾於市一般会計補正予算(第1号) 所管分

県大隅合同庁舎存続実行委員会へ、当初の活動費として50万円。都市交流アドバイザー10名分に係る経費や消防費、市民祭ののぼり旗の経費と曾於市のハッピー200枚分の経費の追加が主な歳出であります。

☆「非核・平和宣言」の採択についての陳情書

大隅町中之内の西秀一氏他から提出され、採択されました。被爆国である日本は、非核三原則を堅持し全世界へ訴える「非核・平和宣言」を行なうことは、極めて意義深いものであり、曾於市も非核・平和都市となることを宣言する決議が可決されました。

文教厚生常任委員会

(渡辺利治委員長)は、平成18年度曾於市一般会計補正予算(第1号)所管分など9件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案8件を全会一致で可決、陳情1件を全会一致で採択すべきものと決定しました。

☆指定管理者の指定について(曾於市立恒吉地区診療所、財部温泉健康センター、財部総合交流ターミナル)

今まで、市が管理運営していた館等を民間あるいは企業・団体等が管理運営を市に代わり行なうものであり、今回は大隅町恒吉診療所を曾於郡医師会立病院に指定しました。今までどおり、診療に変わりはなく地域の方に喜ばれております。財部温泉センターと同施設内にある財部総合交流ターミナルは、財部町出身者で地元企業を持つ(株)山有に指定されました。雇用は、今までどおり変わらず続け、1件30万円までの修繕費は(株)山有が



文教厚生委員会現地調査(財部温泉健康センター)

☆曾於地区介護保険組合の共同処理する事務の変更及び曾於地区介護保険組合規約の変更に

この件は、障害者自立支援法の施行に伴う障害程度区分の審査判定業務を効率的に進めるため、同組合において共同処理できるように組合規約を変更し、さらに関係市町負担金は定率1割ですが、生活保護者0円より上限が3万7200円までの上

負担し、超過する分は協議の上決定するもので、いずれも協定書作成の上引き渡し、期限は平成19年3月31日までとなっております。

☆平成18年度曾於市一般会計補正予算(第1号)所管分

4段階に軽減措置されま

す。

衛生費の介護予防サー

ビス計画事業に1271

万円補正し、主なものは

委託料です。教育費は子

どもと親の相談配置事

業・豊かな体験活動推進

事業が取り入れられます。

学校給食共同調理場管理

費では、器具の交換等も

あります。南之郷中学校

グラウンド改修工事費20

8万円、大隅中学校では、

通学バス業務委託料が入

札により、2600万円

に対し1732万5千円

と867万円程減額でき

ました。社会教育課関係

の公民館費の「曾於元気

だそお」の事業は、地区

活動が活発に展開され地

域住民のまちづくり活性

化のための公民館活動運

営費として、5年間に限

り各公民館へ配分するも

のです。補助金の中で、

食糧費は2割以内と定め

てあり、計画書・報告書

の提出も求めています。

「曾於元気だそお」ふるさと事業補助金

基本額

15万円×24公民館

地域割り額

・世帯数350戸以内

10万円×8公民館

・世帯数351戸から

5000戸

12万円×7公民館

・世帯数501戸から

8000戸

15万円×6公民館

・世帯数801戸以上

20万円×3公民館

☆平成18年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

1865万9千円追加

し、51億1314万2千

円となり主なものは、曾

於市国保ヘルスアップ事

業は3支所で、1会場当

たり週1回4ヶ月で、40

歳から64歳の生活習慣病

予備軍30人を対象に、体

力健康測定・運動教室・

栄養指導・心理及び健康

相談の計画を提供します。

☆平成18年度曾於市老人保健特別会計補正予算(第1号)

ほとんど、精算的なものであります。

☆平成18年度曾於市介護保険特別会計補正予算(第1号)

ほとんど、精算的なものであります。

☆次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書

鹿児島のように、離島・へき地等の多い本県にとつては、教育上重大な影響を及ぼすもので、全会一致で採択し、関係省庁に、意見書の提出を可決しました。



建設経済常任委員会

(吉村幸治委員長) は、平成18年度曾於市一般会計補正予算(第1号)所管分など11件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案8件を全会一致で可決、請願1件、陳情1件を全会一致で採択、請願1件を継続審査すべきものと決定しました。

☆土地改良事業の施行について

来年4月から東部畑かんの管理・運営は市が国と県の施設を借りて、土地改良区に委託して行なうやり方ですが、基幹水利施設管理事業(補助事業国30%・県30%)を導入して、土地改良区の維持管理を軽減するものです。そのためには、地権者の2/3以上の同意が必要となります

問 畑かんの水は普通畑・ハウス・お茶等となっているが、畜産にも使えるのか。
答 当初、農業用水として許可をもらっており、目的外使用ということになかなか厳しいが、畜産施設の冷却効果もあり、

農水省も現地調査を行ない理解を示しているので、今後も引き続き国へ要望していくとの答弁がありました。

☆曾於市道路線の認定について(森田北線、橋野・陣之山線、メセナ温泉通線)

問 行き止まり道路の市道認定の規定はどうなっているのか。
答 市道認定基準の内規で、原則として袋路状道路は認めないとなっている。

問 橋野・陣之山線(県道を市道へ)は、ゴミの不法投棄があり地元と協議して今は封鎖しているが、市道認定をし、道路を開放した時の管理はど

うするのか。
答 市道になれば目が届くので、開放してパトロール等を強化して行きたい。

☆指定管理者の指定について(いきいき親水公園、園、清流の森大川原(峡))

いきいき親水公園を(株)山有に、清流の森大川原峡を曾於市森林組合にするものです。

問 応募は1社のみか。また、雇用促進にはつながらるか。
答 財政課で一括公募して、それぞれ1社のみである。また、若い人を雇ってほしい。

意見 子ども達の遊び場なので、契約時には安全対策に十分気を付けて、指定管理になって良かったと市民から声が出るように指導して欲しい。



☆平成18年度曾於市一般会計補正予算(第1号)所管分

なる予定である。
問 溝之尻線農道舗装工事の理由は。
答 誘致企業のリレッツ

問 茶導人機械の補助率の違いと、補助事業は申請すれば採択になるのか。
答 降灰事業は、洗浄機のみで国50%、県20%の補助率である。また、サ

問 シュおおすみへ通ずる道路で、大型トラックと離合が困難なため4mを6mにするものである。
問 菅渡第3団地建替事業で、現在の入居状況は。また、新しく造った場合は、前の建物はすぐ壊さないといけないのか。
答 木造4戸の内2戸入

ンライズ事業は1/3以内の補助率で、摘採機も対象になる。8月に申請をし、今のところ採択に

居、準耐火6戸の内6戸入居である。また、建替事業の場合は、壊さないといけない。

意見 建設用地の旧タイヨ1建設予定地4700㎡を現地調査したが、隣接する清寿園跡地5176㎡も、検討して欲しい。

☆日本と同等の安全対策のないアメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願及びずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める陳情書

委員会としては、政府は米国産牛肉に対して、国民への食の安全性確保が出来ていない中で再開の合意であり、日本と同等な安全対策が構築されるまでは拙速な輸入再開は行なわないこととして採択し、関係省庁に、意見書の提出を可決しました。



建設経済委員会現地調査(末吉菅渡第3団地)

議会のうごき

4月4日・6日・7日・14日	所管事務調査（建設経済委員会）
10日	鹿児島県市議会議長会定期総会（枕崎市）
16日	東京財部会総会（東京都）
19日～21日	第81回九州市議会議長会定期総会（沖縄県）
21日	平成18年度県政説明会（鹿児島市）
26日	議会運営委員会
5月8日	大隅総合開発期成会臨時総会（鹿屋市）
15日	議会運営委員会
17日	全員協議会
20日	日置市発足一周年記念式典（日置市）
21日	新市「鹿屋市」誕生記念式典（鹿屋市）
21日～22日	東海地区末吉会（愛知県）
23日	鶴岡市議会行政視察来庁
23日	鹿児島県市議会議長会臨時総会及び国会議員との懇談会（東京都）
24日～25日	第82回全国市議会議長会定期総会（東京都）
26日	平成18年度大隅開発期成会等5団体総会（鹿屋市）
30日	東九州自動車道建設促進地方大会（鹿屋市）
30日	都城～志布志間地域高規格道路建設促進協議会総会（都城市）
6月7日	福島県議会特別委員会行政視察来庁
8日	議会運営委員会
13日	第2回定例会（初日）
15日～16日	本会議（一般質問）
19日	本会議（総括質疑・委員会付託）
15日～16日	各常任委員会
28日	本会議（最終日）



鶴岡市議会の皆様



福島県議会の皆様

編集後記

旧3町が合併して、早や1年が過ぎ7月2日には「曾於市誕生1周年記念式典」が、伊藤県知事を始め国會議員・県議會議員の方々のご臨席を賜り盛大に挙行されました。ご来賓の方々のご挨拶にもありましたとおり、曾於市は、農林畜産業の実績はもとより将来も益々発展する可能性を秘めている地域である反面、三方を十余万都市に囲まれ、経済的・行政的にはその狭間に立たされる懸念もあるような話しもされました。

そのようなことにならないよう、市民の皆様と共に市当局・議會議員一体となつて、頑張つていかなければならないと考えております。

さて、6月定例会は、13日より28日までの会期で行なわれ一般質問者9名の活発な質疑応答は記載のとおりであります。

また、議会だよりの編集に当たりましては、なるべく多くのことをわかりやすく、読みやすい紙面づくりのために委員一同努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、時節柄暑い日が続きますので、ご自愛の上ご活躍下さいますようご祈念申し上げます。

（大川内）



議会広報等調査 特別委員会

委員長 大川原主税
副委員長 大川内富男
委員 八木 秋博

〃 西川 熊則
〃 大休寺 守
〃 五位塚 剛

発行責任者 坂口 幸夫